

ミニトマト空中栽培セットの作り方

ペットボトルで逆さ栽培に挑戦

用意するもの

- ミニトマトの苗
- ペットボトルプランター
- はさみ
- 不織布
- 赤玉土
- 培養土
- 割り箸
- S字フック

ペットボトルは1リットル程度でもできますが、土の量が少ないため乾燥が早くなります。少し大きく育てたい場合や、水切れを少なくしたい場合は2～4リットル程度の大きな容器の方が管理しやすいです。

ミニトマト空中栽培セットの作り方 | 手順1～4

1 ミニトマトの苗をビニールポットから抜きます。



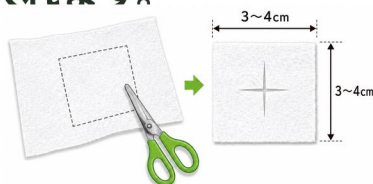
根を傷めないよう、やさしく取り出します。

2 水を入れたバケツに根の部分をつけ、土を洗い流します。



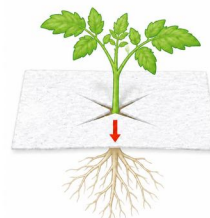
強くこすらず、水の中でやさしく揺らすようにして落とします。完全に土を落とすことより、根を傷めないことを優先します。

3 不織布を3～4cm程度の正方形に切り、中央に十字の切り込みを入れます。



不織布は、苗と土がペットボトルの口から落ちにくくするために使います。

4 ミニトマト苗の根を、不織布の十字部分へ通します。



茎の周囲を不織布が囲むような形にします。

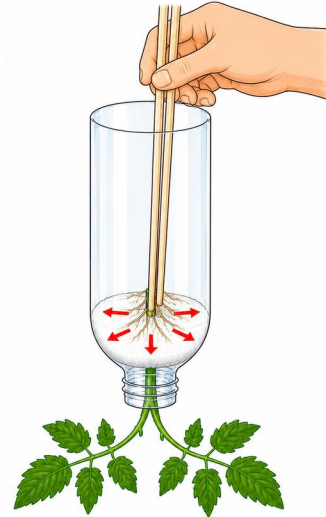
手順5～8

- 5 苗の根をペットボトルの口から中へ通します。



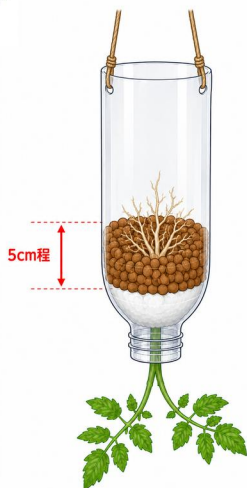
不織布を軽く圧縮しながら、ペットボトルの注ぎ口から中へ根を痛めないよう注意しながら押し込みます。

- 6 ペットボトル内部に入った不織布を、割り箸などで広げます。



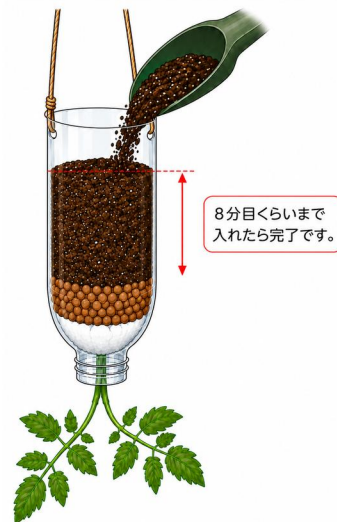
これは、逆さに吊るしたときに苗や土がペットボトルの口から落ちにくくするためです。

- 7 苗を取り付けたペットボトルを逆さにし、赤玉土を5cmほど入れます。



赤玉土を注ぎ口側から約5cmの高さまで入れます。

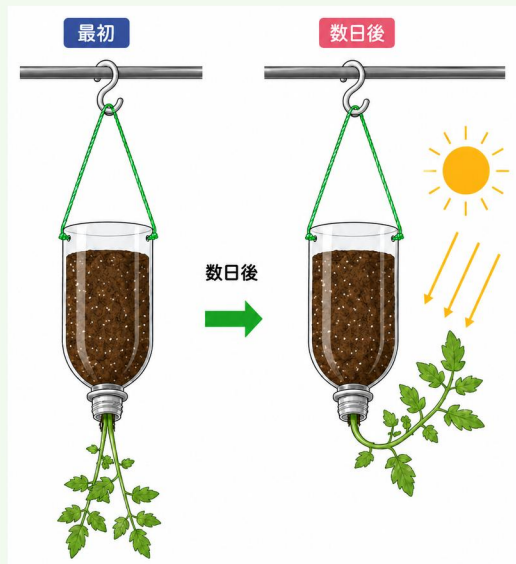
- 8 培養土を少しずつ入れます。



軽く揺すりながら根の周りにも土が入るようにし、ペットボトルの8分目程度まで入れたら完成です！

育て始めてからのポイント

数日すると苗が上を向き始めます



植え付けた直後を見ると、「こんな下向きの状態で本当に育つの？」と思いましたが、数日すると、トマトの先端が少しずつ曲がり、光のある方向へ向かって伸びていきます。この変化は、空中栽培ならではの面白いところで、最初から支柱で上向きに育てる通常のトマトとは、まったく違った姿になります。

空中栽培で一番大切なのは水やり



空中栽培で特に注意したいのが水切れです。ペットボトルは通常のプランターより土の量が少なく、さらに吊るしているため乾燥しやすくなります。特に1L程度の小さな容器では、真夏はかなり早く乾きます。朝にしっかり水を与え、暑い日は夕方にも土の状態を確認すると安心です。反対に、水が常にたまった状態も根にはよくないため、土の乾き具合を見ながら調整します。土が乾燥しているときにペットボトルポットを持った重さの感覚をおぼえておくといいです。軽ければ乾燥している判断になります。